

高校教育課

魅力ある県立高校づくりについて

○ これまでの取組み

県教育委員会では、生徒の能力・適性・進路希望などに対応して高校教育の充実を図るとともに、県立高校が活力に満ち、時代の変化や社会の要請に即した多様な教育を推進するため、平成 23 年度からおおむね 10 年間を見通した、「県立高校の再編整備基本計画」を策定し、これまで様々な取組みを進めてきた。

【現在の計画の中での主な取組み】

平成 25 年度 石田・高松南・笠田高校の家政科を生活デザイン科に改編

平成 29 年度 小豆島・土庄両高校を統合し、小豆島中央高校を開校

観音寺中央・三豊工業両高校を統合し、観音寺総合高校を開校

坂出高校普通科に「教育創造」コースを設置

多度津高校機械科に「造船コース」を設置

○ 新たな課題への対応

一方で、高校教育を取り巻く社会情勢が急速かつ大きく変化し、国において学習指導要領改訂、高大接続改革の進展等の動きが活発に行われる中、本県の高校教育においても新たな課題が生じており、これに対応するため、平成 33 年度以降の県立高校の在り方についての「次期計画」策定を検討する。

【検討が必要な主な課題】

- ・ グローバル社会の急速な進展への対応
- ・ 専門教育のさらなる充実
- ・ 中高一貫教育をはじめ、校種間の接続・連携の在り方
- ・ 少子化時代における学校・学科の在り方

特に生徒減少が著しい東かがわ・さぬき地域における学校・学科の在り方

等